



伊藤いさお県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

富里市特集

2月県議会一般質問

富里市時代から村・町議5期、県議3期目を務め、地方行政に最も精通した議員との評価を高める伊藤勲(いと う・いさお)県議は、地元・富里市が国際空港都市圏の地域としてさらに飛躍を続けるための諸施策を提言するため、2月県議会的一般質問に登壇しました。

伊藤県議は、成田空港周辺地域にとつて懸案となつている成田空港の機能拡充では、関連施設整備は国の責任で予算措置すべきとし、また、空港会社の株式上場の際には、売却益は当然、地元振興に還元すべきだとの正論を述べました。伊藤議員が力を入れる農業振興策と合わせ、本会議での一般質問の主な質疑を1、2面で特集しました。



2月県議会の本会議場に登壇した伊藤勲県議

NAAの完全民営化時 上場売却益は地元還元を!

国の責任で施設整備求め

伊藤議員 成田空港は、国の計画において地域住民の多大な犠牲のうえに築かれた歴史的な経緯もあり、株式会社になったとはいえ、国の100%の出資会社であり、県として、国が完全空港化の施設整備に責任を持ち、その予算措置を講ずるよう求める、積極的な役割を果たすべきと考えるが、どうか。

成田空港の年間発着枠30万回については、国、県、周辺9市町、成田空港会社の四社で一体となって実現していくこととなりましたが、国はこの合意形成に当たつても、運行の安全面や騒音影響に配慮した飛行コースの設定など、積極的に対応

空港周辺に保税特区

伊藤議員 成田空港会社の株式が売却された場合、その売却益を十分な騒音対策や不足する空港内施設整備に充てることが常識と考

えるが、県はどのように考えるのか。

総合企画部長 県はこれまで、国の「今後の国際拠点空港のあり方に関する懇談会」等において、成田空港会社の株式上場の際には、上場益の一部を周辺地域振興のための財源として保留し、地元還元するよう求めてきたところです。

成田空港会社の完全民営化の時期は未だ明らかになつていませんが、今後の機能拡充を見据えて、環境対策等の充実を図るためにも、引き続き上場益の地元への還元を求めてまいります。

伊藤議員 空港周辺に保税工場や保税展示場が容易に進出できるような環境整

伊藤いさお県議 PROFILE

● 略 歴 ●

- 昭和16年 3月 富里町生まれ
- 昭和34年 3月 成田高校卒業
- 昭和56年 4月 富里町議会議員初当選(5期)
- 平成7年 5月 富里町議会議長
- 平成11年 4月 県議会議員初当選
- 平成15年 4月 県議会再選
- 平成19年 4月 県議3期目当選

● 現 職 ●

- 県 議 会 農林水産常任委員会委員
- 千 葉 県 農業会議会長 農政審議会委員
- 自民党県連 党紀委員長
- 同 農政問題議員連盟会長
- 同 県議会議員会副委員長

空港都市・富里のために

県政や富里市のご相談、ご意見を聞かせてください

伊藤 勲 県議事務所

〒286-0202 富里市日吉倉1381 TEL.0476-93-1461

空港周辺の道路網整備訴え

県「圏央道は目標通り開通」

伊藤議員 成田空港の経済効果、機能を十二分に生かすため、道路網の整備は欠かせません。その一つとして成田空港へのアクセスとなる圏央道の早期完成がぜひとも必要です。

県は、圏央道の整備促進を積極的に推進すべきであり、どのような見直しを持っていくのか。

国土整備部長 圏央道は東京湾アクアラインと直結し、県の道路ネットワークの骨格となるとともに、成田空港へのアクセス強化や、首都圏との連携に資する大変重要な道路であります。

現在、茨城県境・大栗間及び東金・木更津間は、平成24年度を開通目標に定め、国や東日本高速道路会社において事業が進められています。県としては、国の来年度道路予算の基本方針に、直轄事業は開通時期が近いものを優先する、とされていることから、目標どおりの開通が図られるものと考えています。

また、成田空港へのアクセスとなる大栗・横芝間は、圏央道で唯一開通目標が示



成田空港を森田知事と視察する伊藤勲県議

伊藤議員 酒々井インタ―チェンジ及び成田小見川鹿島線インタ―チェンジから空港へのアクセス整備はどのようになっているのか。

国土整備部長(仮称) 酒々井インタ―チェンジから港南側へのアクセスとなる

農家の生産意欲向上策を！

富里市道01-008号線については、富里市が今年度より富里市新橋地先から中沢地先まで、延長2.2キロのバイパス整備に着手したところであり、県としても積極的に支援してまいります。(仮称)成田小見川鹿島線インタ―チェンジから空港へのアクセスとなる県道は、成田市十倉三工区で約1.9キロ、今年度から取香工区で約1キロの4車線化の整備を進めています。

伊藤議員 空港周辺交通インフラとしての道路網の整備について、県としての考えはどうか。

国土整備部長 成田空港関連の物流や観光振興などにとつて、空港周辺の道路網の整備が重要だということとは十分認識しています。特に、空港の年間発着枠が増加されようとしている中、それに伴う交通需要に対応する道路網の整備が、喫緊の課題になっています。

そのため、空港へのアクセス強化を図る圏央道、北千葉道路のほか、地域の幹線道路である国道409号富里拡幅、県道成田小見川鹿島線などの整備を進めているところですが、今後とも、これら道路網整備を二層推進してまいります。

伊藤議員 リーマンショック以来の経済不況とデフレスパイラルによる消費低迷から、量販店が安売り競争を繰り返す中で、すべての農畜産物の価格が、生産コストを無視され、出荷経費にもならず、加えて生産資材の高値水準が続いていることから、農家は大幅な減収を余儀なくされ、生産意欲を喪失させつつあります。農業産出額第2位奪還を目指す知事として、景気の回復するまでの時限措置として、制度資金等の返済猶予や利子補給等、県単独もしくは国に働きかける対策を考へるべきと思うがどうか。

農林水産部長 農業近代化資金等の制度融資は、農業者の経営を支援するため、県及び市町村等から利子補給することで、無利子から1.7%程度の非常に低い金利での貸付となっております。国のガイドライン等に沿って、全国一律に運用されており、県独自に制度の仕組みを超えて、返済猶予や償還期限の延長等を実施することは、難しいものと考えています。

しかしながら、本県農業のさらなる向上を図る上で、深刻な経営状況にある農業者への対応は、重要であり、日本政策金融公庫や農協等系統機関の資金による既存の借り換え制度の活用を図ってまいります。

伊藤議員 米粉用米生産拡大の課題である、販路の確保に対する県の取り組みをどう考えているのか。

農林水産部長 米粉用米は、農家が需要先を確保するのが困難なことから、県が製粉会社等へ直接訪問し、需要量の確保に努めてきました。本年2月には「勝ち抜け！ちばの米セミナー」を開催し、農家自らが米粉用米で製造した「米麴」等の販売事業を紹介するなど、農業者と実需者とのマッチングを図る取り組みも行っていきます。

バイパス整備に県支援

伊藤議員 酒々井インタ―チェンジ及び成田小見川鹿島線インタ―チェンジから空港へのアクセス整備はどのようになっているのか。

国土整備部長(仮称) 酒々井インタ―チェンジから港南側へのアクセスとなる

排水機場のポンプ故障

伊藤議員 印旛沼2期地区の用排水機場と合わせ、排水ポンプの故障があれば、周辺市街地へ計り知れない災害をもたらすなど、多大な影響が懸念されます。手賀排水機場のポンプ6台は、いつごろまでに整備可能か。また、早期に対応すべきと思うがどうか。

農林水産部長 故障したすべてのポンプで、ボルトの破損、整流板の破損等が判明し、現状のままでは稼動することは困難だと判断しました。このため、早急に対応が可能な

5号、6号ポンプは、年度内に応急措置を行い、災害の防止に努めてまいります。さらに故障した3号ポンプも含めた6台すべてのポンプについて、平成24年度までに整備を行い、排水機能の回復を図りたいと考えています。

富里市特集
市民の声を生かして
ふるさと富里づくり

2月県議会一般質問
伊藤いさお県議



印旛沼2期地区を現地調査する伊藤勲県議